

県央・宇都宮版

SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE

北関東ジオラマ壬生町へ

おもちゃ博物館に3県の名所

【壬生】JR東日本大宮支社と東武鉄道は26日、北関東3県の名所などを模したプラレールジオラマ「ミチのキタカン」を町に贈った。ジオラマはイベントで関西圏に魅力を伝える目的で製作されたが、両社はイベント終了後も有効活用する方法を模索。県の仲介で町への寄贈が決まった。町は国谷の町おもちゃ博物館でジオラマを常設展示し、新たな誘客の目玉として活用する。(近藤圭祐)



JR東と東武鉄道が寄贈

両社は昨年10月、大阪市 光振協会(会長 主権)に北で開かれた「ツーリズムE 関東三県広域観光推進協議会(XPOジャパン)」(日本観光協会)と共同で出展した。ジオラマはイベントで関西圏に魅力を伝える目的で製作された

被災の放牧地に電気柵

茂木・酪農志す宇都宮大生ら 復興支援し、現場で学ぶ



瀬尾さん(左)の説明を聞き、研究員らと電気柵の復旧作業に当たる新井さん(右から2人目)

【茂木】昨年の台風19号の大雨で那珂川に肉用牛が流されるなど大きな被害が出た小井戸、瀬尾ファーム経営瀬尾亮さん(65)の放牧地で26日、宇都宮大農学部学生や農業研究機構の職員ら5人が、電気柵復旧のボランティアに当たった。

同大生物資源科学科で家畜繁殖生理学を学ぶ3年新生井健人さん(21)が、同大地域創生推進機構の西須紀昭特任教授(64)と瀬尾ファームを訪れた。瀬尾さんと協力し耕作放棄地への放牧による高収益の子牛生産技術の実証に当たっている農業研究機構の研究者や関東農政局職員らも加わり、台風で電気柵や飼育施設を失った那珂川右岸の放牧地



高根沢

作された。期間中に人気を集めていたこともあり、今後も多くの人たちに見てもらおうと、町へ寄贈することにしたという。

ジオラマは縦270センチ、横360センチで、高さ最高136センチ。栃木、茨城、群馬の北関東3県と東京エリアで構成されている。日光東照宮や男体山、茨城空港や草津温泉など各地の景観が精巧に再現されている。

同館で行われたお披露目式には、JR東日本大宮支社の高岡裕治営業部長、東武鉄道の島田憲治営業統括部長、小菅一弥町長らが出席した。小菅町長は「おもちゃ博物館は北関東道のちよど真ん中に位置し、ジオラマを置くのにふさわしい場所。大切に守っていきたい」と感謝した。

国谷幼稚園の年長児約40人も招かれ、精巧なジオラマに見入っていた。川辺護ちゃん(6)は「でっかくてびっくりした。電車が高い所を走っている感じがいい」と興奮していた。

利性なども学んだ。新井さんは「現場の話も聞けて将来に向け刺激になった。頑張ろうという気持ちになった」と話した。

瀬尾さんは「これで来月中旬には放牧地に牛を入れられる。これから世に出る人に手伝わってもらえたのは特にうれしい」と喜んだ。(飯塚博)

市員の魅力 都内でPR

【市員】町は、町内の里山の自然と食をPRしようとして20日から、都内でパネル展示と加工食品の委託販売を行う。当初は20日を集客イベントに充てていたが、新型コロナウイルス感染症拡大を警戒して中止、内容を変更した。

29日から パネル展と食品販売

【宇都宮】竹林町の済生会宇都宮病院看護専門学校で21日、基礎実習を終えた1年生38人が新たな思いを

宇都宮・済生会病院専門学校 新たな決意胸に 「看護観発表会」 1年生、基礎実習を終え



看護観発表会

病院関係者らに伝える看護観発表会が行われた。発表会には在校生や病院関係者、保護者、教職員が出席。学生はそれぞれ「自分本位ではなく、患者の気持ちに寄り添うことが大切」「退院後のケアを考えた看護が必要」などと看護の決意を表明した。

上級生や実習関係者から今後の心構えなど説明を受けた後、キャンドルサービスを行った。明かりが消された室内でろうそくに火がともされ、厳かな雰囲気の中「強い信念を持ち、常に向上心を高め合い看護の道を歩みます」などと学生全員で考えた誓いの言葉を唱和した。

学生代表の吉田蓮さん(19)は「1年間多くの人と関わって感謝の気持ち芽生えた。これからさらに頑張りたい」と話した。(亀井勝)

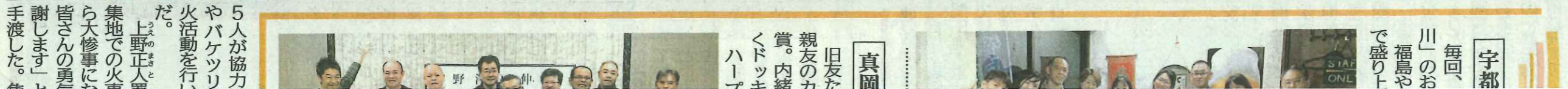
初期消火に協力 3人へ感謝状

宇都宮西消防署 宇都宮市西消防署は

26日、大寛2丁目目で発生した建物火災の消火活動に協力したとして、無職磯光さん(85)・大寛2丁目目、不動産会社社員齋藤大胤さん(39)・鶴田町、同神長芳幸さん(41)・宝木町2丁目IIに感謝状を贈った。



【写真】1月6日午前11時頃、大寛2丁目IIのアパートが焼け、磯さんら3人を含む5人が協力やパケツリやバケツリ火活動を行った。上野正人(左)ら大惨事から皆さんの勇手渡した。



【写真】1月6日午前11時頃、大寛2丁目IIのアパートが焼け、磯さんら3人を含む5人が協力やパケツリやバケツリ火活動を行った。上野正人(左)ら大惨事から皆さんの勇手渡した。

町は子育て支援に頑張っている印象がある。高根沢高生もコンビニとコラボして高根沢ちゃんぽんの新メニューを作るなど積極的。地域活動の取り組みに、人の優しさを感じますね。(高根沢、助産師、49歳)

●宇都宮総局 TEL.028(632)2958 FAX.028(633)6134
●まちなか支局 TEL.028(908)1023 FAX.028(908)1024
●真岡総局 TEL.0285(80)1023 FAX.0285(80)1024
●鹿沼支局